

広島大学短期交換留学プログラム 派遣留学報告書
HUSA (Hiroshima University Study Abroad) Program Report

派遣プログラム Name of Program	<input type="checkbox"/> HUSA <input type="checkbox"/> USAC <input type="checkbox"/> UMAP
留学先大学 Host University	グリフィス大学 (国名/Country : オーストラリア)
所属学部・学科等名 School/Graduate School at Host	Griffith Business School
在籍身分 Status at Host University	Exchange Student (ex. Exchange Student, Special Auditing Student)
留学期間 Period of Program	2020年 2月 24日 ~ 2020年 10月 16日 (YYYY/MM/DD) (YYYY/MM/DD)

1. 留学するまで / Preparation for the Program

留学への志望動機・ 派遣先大学を希望した理由 Purpose of Study / Reason of Host Choice	留学への志望動機は、現地での長期の生活を通じて人々との交流や文化に浸ることを経験することと、今まで学べなかった分野を英語で学習することでした。派遣先大学は、大学がある都市の環境と授業内容を主な要因として決めました。大学選びに迷った部分もありましたが、最終的には自分の最初の直感を信じて決めました。
留学準備を始めた時期 (応募する 何か月前ですか?) Commencement of Preparation for Application	応募時に必要な IELTS を応募の約半年前に受けました。そのために試験前 2~3 か月ほどは集中して対策を行っていました。
事前準備について(どのような準備 をしたか、しておけばよかった か) Preparation Completed Prior to Study Abroad	できる限り英語に関するスキルを上げておくことが、現地での交流や学びの充実につながると思います。また、私自身が言語学を専攻しているのもあり、英語で行われる授業を日本で受講していましたが、その経験も大いに助けになりました。特に英語の論文の形式に慣れていないと、論文を読むときはもちろん、自分でエッセイなどを書くときにも生かせると思います。

2. 渡航について / Visa and Flight Information

ビザについて Visa	ビザの種類 / Visa Type : Subclass 500 (学生ビザ)
	ビザ申請先 / Location of Visa Application : オーストラリア政府
	提出書類 / Required Documents : パスポート、入学許可書、OSHC、GTE (留学理由のエッセイ)
	手続きに要した日数 / Duration of Visa Application Process : 合計約 3 か月
その他必要な事前手続き Other Required Procedures	上記の提出書類に加え、既往症があったので、健康の証明を豪政府公認の病院で行うのと、主治医の見解書を用意する必要がありました。
出国年月日 / Date of Departure	2020年 2月 9日 (YYYY/MM/DD)
経路(往路) / Route (Outward)	羽田 — シドニー — ゴールドコースト
現地での出迎え Pick-up Service	<input type="checkbox"/> 有/Yes (大学関係者/Univ. Staff ・ その他/Others) <input type="checkbox"/> 無/No
到着後オリエンテーションの有 無・期間・内容 Orientation, Period, Contents	<input type="checkbox"/> 有/Yes 有の場合 期間/Period : <u>17/02/2020</u> - <u>21/02/2020</u> (If Yes) 内容/ Indicate Content Covered during Orientation <input type="checkbox"/> 無/No 大学の説明、あとはイベント。
帰国年月日 / Date of Return	2020年 4月 4日 (YYYY/MM/DD)
経路(復路) / Route (Return)	ブリスベン — シドニー — 羽田

3. 留学費用について / Expenses

支払額 / Expenses	総額	(全て約2か月間の生活と渡航前後に必要な分) 約 600,500	
	Total Amount		円/yen
内訳 Details	渡航費 (往復) / Flight Ticket (Round Trip)	約 200,000	円/yen
	ビザ申請手数料/ Visa Application Charge	(健康診断含め) 約 50,000	円/yen
	予防接種費用 / Immunization Charge	0	円/yen
	保険料 / Travel Insurance	約 70,000(返金分も計算)	円/yen
	教材費 (授業料以外の学費) / Learning Material (Extra Tuition Fee)	約 10,000	円/yen
	宿舍費 (住居費) / Accommodation Fee	約 160,000	円/yen
	光熱費 / Utility Cost	0 (寮費に含まれていた)	円/yen
	食費 / Meal Cost	約 30,000	円/yen
	通信費 (インターネット・携帯) / Internet, Phone	約 5,500	円/yen
	交通費 (宿舍-大学間) / Transportation (Accommodation ~ Univ, Campus)	0 (徒歩で通っていた)	円/yen
	交際費 / Social Expenses	約 25,000	円/yen
	その他 / Others (旅行 費) (費) (費)	約 50,000	円/yen 円/yen 円/yen

4. 授業・修学について / Courses and Study

授業の概要について (カリキュラム, プログラム, 履修した科目, 時間数, 履修形態等) / Brief Description of Courses (Curriculum, Program, Registered Courses, Study Hours, Course Style)	1 学期: 4 科目 (Italian IA; Introduction to environmental science; People and places in service industry; English as a global language) 2 学期: 3 科目 (Introduction to international business; economics for decision making; Language, technology & social media)
単位互換希望の有無 / Credit Transfer from Host to Home University	<input type="checkbox"/> 有/Yes <input type="checkbox"/> 無/No
授業・勉強についてのアドバイス (留学前の履修, 留学中, 単位取得等) / Advice for Class and Study (Before and During Study Abroad)	ビザを取得する際の書類のため渡航前に受たい授業を選択し、基本はその時申請した授業の中から受講します。しかし、現地で受たい授業ができれば、その先生や Exchange Study の事務の人と相談して受講することも可能なようです。実際に私の友人は交渉を行って受講していました。受たい授業を決めたら、すぐに申し込むのをおすすめします。早いもの勝ちなので、授業によっては定員いっぱいでは受けられない可能性もあります。授業始めには提出物や成績基準の情報が開示されているので、早めにすべて確認するのをおすすめします。この授業合わないと思ったら、2 週間ほどの期限以内ならペナルティなしでドロップできます。
日本と異なる授業形態などにおける困難や挑戦 (ティーチングスタイル・先生と学生との関係性など) / Difficulties and Challenges Faced in Classes Different from Japan (Teaching Style, Relationship with Professors/Lecturers)	基本的に 2 時間のレクチャーと、1 時間のワークショップに分かれており、後者は少人数で双方向の授業であるのが特徴です。ワークショップが複数ある授業もあり、時間割の兼ね合いを見ながら決めます。グループで話し合う時、ネイティブスピーカーが多いと、その会話の速さや言い回しについていくのに苦労するかもしれません。先生はフレンドリーな方が多く、学生との距離も比較的近い印象でした。

5. 生活等について / Lifestyle		
(1) 留学先の住居について / Accommodation		
住居の種類 Type of Accommodation	<input type="checkbox"/> 大学の寮 / University Dormitory <input type="checkbox"/> アパート / Apartment <input type="checkbox"/> その他 / Others ()	
住居の広さ Size of the Room	約/approximately (個人部屋) 9 m ²	同居人の有無 Roommate(s)? <input type="checkbox"/> 有 / Yes (4 人/People) <input type="checkbox"/> 無 / No
住居に附属する設備 Facilities in Accommodation	<input type="checkbox"/> 電気/ Electricity <input type="checkbox"/> ガス/ Gas <input type="checkbox"/> 水道/ Water <input type="checkbox"/> 給湯/ Hot Water <input type="checkbox"/> シャワー/ Shower <input type="checkbox"/> 風呂/ Bathtub <input type="checkbox"/> 水洗便所/ Flushable Toilet <input type="checkbox"/> 暖房/ Heating <input type="checkbox"/> 冷房/ Cooling <input type="checkbox"/> 台所/ Kitchen <input type="checkbox"/> 食堂/ Dining Room <input type="checkbox"/> 固定電話/ Land-Line Phone <input type="checkbox"/> インターネット/ Internet <input type="checkbox"/> その他/ Others (各個人の部屋はあります。)	
住居費 Accommodation Fee	1ヶ月当たり/ per month \$1124 (現地通貨/ local currency)	約/ approximately 80,000 円/yen
留学先での住居全般に関するアドバイス Accommodation Advice	寮(university village)はイベントが本当にたくさんあるものの、正直家賃がかなり高いわりに設備はそこまです。エアコンなし、たまに冷水シャワーでしたし。また、同居人の国籍は完全ランダムで、私の所は日本人4人とアメリカ人1人という、結構いびつなものになっていました。ホームステイやフラットシェア、village以外の寮や学生アパートなど選択肢は多いので、大学との距離や設備など総合的に考えながら選ぶのをおすすめします。	
(2) 医療について / Medical Care		
保険の加入先 Insurance (Who Designated)	<input type="checkbox"/> 本学指定の保険 / Hiroshima University <input type="checkbox"/> 留学先大学指定の保険 / Host University <input type="checkbox"/> その他 / Others ()	
保険の補償内容 Insurance Coverage	補償額 / Coverage 死亡 / Death 10,000,000 円 / yen, 入院1日 / per day of Hospitalization (記載なし) 円 / yen その他 / Others ()	
留学前後での予防接種の必要の有無 Immunization Requirement	<input type="checkbox"/> 有 / Yes (種類 /Acquired Immunizations : , 医療機関名 / Location of Immunization :) <input type="checkbox"/> 無 / No	
留学先国の医療事情 (日本と比較して) Difference in Medical Service (Compared to Japan)	病院に行っていないのでわかりません。	
留学先での健康管理、衛生面について特に注意すべきこと Healthcare and Hygiene	紫外線が非常に強いので、日光への対策はやりすぎなくらいでちょうどよいです。怠ってしまうと、皮膚が真っ赤になり、服の摩擦ですら痛みを感じるようなことになりかねません(経膜炎)。水道水は硬水ですが、飲むことは可能です。着いて数週間は無意識でも疲れがたまりやすいので、しっかり食べて寝ましょう。	
(3) 危険を感じた地域、状況、安全管理において注意したこと / Dangerous Situations and Locations Encountered, Possible Advice for Risk Management		
私は経験しませんが、電車で暴言を吐かれたり、酔っ払いにわざと咳き込まれたり、生卵やペットボトルを投げつけられたりした日本人が、新型コロナウィルスの件以降何人かいました。以前より東アジア系の人への風当たりが表面化したと思います。夜の繁華街やトラムの終点から空港方面に出ているバスは、特に変な人ややんちゃな小中学生がいるみたいなので注意が必要です。とはいえ、日常生活では危険を感じたことはありませんし、最低限気を付けていれば、基本的にはのんびりした雰囲気の中暮らせると思います。		
(4) 食生活についてのアドバイス / Food – Related Advice		

<p>外食が学食含めかなり高いので、基本的には自炊をしていました。電子レンジには大変お世話になりました。野菜や果物、鮮魚・鮮肉は量り売りが多いので、自分に合った量を買えます。水は高いですが、牛乳はかなりお得です。米はあまりないので、炭水化物はパンやパスタ、シリアルから摂取しましょう。アジアンショップに行けば、日本食も買えます。また、コーヒー文化が独自に発展しているので、飲んでみるのをおすすめします。クリームたっぷり甘いものもありますよ。</p>	
<p>(5) 気候・服装についてのアドバイス / Advice on Local Climate and Clothing</p>	
<p>乾燥しているかと思っていましたが、到着したところ（現地は夏）はかなり蒸し暑かったので、日本の真夏と同じような服装でいいと思います。私は通常半袖半パンに、学校以外はビーチサンダルで過ごしていました。帰国が早かったので冬はどんな感じかわかりません。また、基本的にはラフな服装でいいと思いますが、クラブとかパーティー用にフォーマルな服やおしゃれな服もあると対応しやすいです。</p>	
<p>(6) 学内外の施設・設備環境について（インターネット環境含む） / Available Resources (Library, Cafeteria, Campus Wi-Fi, etc.)</p>	
<p>印刷料金が1枚当たり広大の3-5倍くらい高い（片面か両面かで異なる）ので、注意が必要です。また、学内のフードコートもなかなか高価です。でも、大学内にお酒の飲めるバーがあったのは新鮮で、年齢確認さえできれば気軽に入れます。インターネット環境は良いですし、図書館には24時間空いているスペースもありました。Wi-fiや印刷機器の最初の設定は少し大変なので、困ったら図書館にいるヘルプの人に相談したらいいと思います。</p>	
<p>(7) 現地学生や地域との交流について（どのような、機会・きっかけがありましたか？） / Communication with Local Students and People (Available Opportunities?)</p>	
<p>授業が始まる一週間前からのオリエンテーションの週から大学で様々なイベントがあり、交流の良いきっかけになりました。また、交換留学生のためのパッケージツアーが授業前の週末にあり、そこでもたくさん交流ができます。自分は寮に滞在していたのでそのイベントもきっかけになりましたし、授業が始まってからもクラブ活動やワークショップで学生たちと交流できます。私はビーチバレーのサークルや、ヨガや護身術のワークショップに参加していました。</p>	
<p>(8) 習慣やマナーの違いによる対人関係等、注意すべきこと / Care and Attention regarding Customs and Manners</p>	
<p>存在感を出せないと、サークルやイベント、あるいは友達との集まりでも認知されない時があるので、話せるときはしっかり話しましょう。生活で困ったら自分から聞きましょう。また、対人関係ではないですがサービス面において、店員に携帯で会話している状態で対応されたり、オーバーブッキングが起ころうと早いもの勝ちで終わらしたりするなど、日本だとありえないと思うことがあるかもしれませんが、ある程度は受け入れてイライラしすぎないのが大切だと思います。</p>	
<p>(9) 日本から持っていくべきもの、持っていきたくないもの / What Should You Bring? What Should You NOT Bring?</p>	
<p>メガネの人は、日本で度付きのサングラスを作るべきだと思います。薬も自分にあったものを持っていくべきです。寮（university village）で生活するなら、食器などを持って行けるならあったほうが到着後すぐに使えます。日本の食品があると、ふと食べたくなった時にありがたいです。検問の要件はチェックしておきましょう。ただ忘れても大抵のものは現地でも買えます。あと、紛失厳禁ですが、自動車免許があるなら持っている、今回のように緊急帰国をしないといけないうちに、レンタカーを借りるなど取れる選択肢が増えます。</p>	
<p>(10) その他生活等に関して参考となる情報・アドバイス / Other Useful Information and Advice about Life Abroad</p>	
<p>1. 学生証に生年月日の表示がないので、年齢確認は基本的にパスポートになってしまうのには注意です。 2. 現地で銀行口座を開設するときのために、自分のマイナンバーの控えを持っていくか、番号を把握しておきましょう。 3. クレジットカードを作成しとくのがおすすめです。初めの月は家のデポジットなどで出費がかなり多いです。 4. SIMカードは、現地でインターネットを通じて調達すると、かなり安く抑えられます。届くまでに時間が少しかかるので、それまでは現地のスーパーとかで買える1日ごとに支払うタイプのSIMや、日本でも海外でも使える使い切りのSIMを用意するといいです。</p>	

6. 帰国後の進路について / Your Career After Study Abroad

卒業予定年月 Expected Graduation Month and Year	2022年 / year 3月 / month (当初の卒業予定年月 / Expected Month and Year before Studying Abroad 2020年 / year 3月 / month)
卒業が遅れる見込みの場合、その理由 Reason for Extension of	<input type="checkbox"/> 4年次に留学したため / Participation in HUSA during 4th Year <input type="checkbox"/> 単位不足のため / Amount of Credits <input type="checkbox"/> 新卒で卒業するため / In order to graduate as a "new" graduate

Graduation Month and Year?	□その他 / Others (具体的に / Specific reason: 過去の休学)
現在の状況および今後の予定・進路等 Current Situation, Plan and Career	11月から3月の間休学し、就職活動や特別研究に向けての準備に取り組む予定です。
就職活動や留学前の単位取得、教育実習等についての工夫 Pre-arrangement by yourself for your future job hunting, acquisition of credits of required courses and practicum, etc.	留学前に卒業論文以外の単位は取ってから出発しました。それにより単位互換の必要がなかったので、広島大学で類似する授業があるか考えることなく、好きな授業を受講することができました。

7. 留学準備、留学中に役立った書籍、ウェブサイト等 / Useful Books and Website for Study and Life Abroad

書籍、サイト名 Name of Book or Website	詳細（出版社、URL等） Details (Publisher, URL etc.)	コメント Comments
Accommodation で検索		大学のサイトにも色々な選択肢が提示されています。
GTE で検索		ビザ申請の GTE を書くヒントを得ましょう
My Griffith		もみじ的なやつ。学生証の申請とかもここで。

8. 後輩へのメッセージ / Message for Outgoing Students who Desire to Study Abroad

自分でチャンスを見つけてつかみ取り、楽しむことができれば、より充実した留学生活を送れると思います。また、何かに迷った時、とことんまで考え抜くことも大切ですが、それと同じくらい自分の直感を信じて決断するのも時には大事だと思います。とにかく選択に後悔しないように！これを読んでくれている皆さんが留学に行くころには、パンデミックとその影響が落ち着き、最後まで留学生活を送れるような世界になっていることを願っています。

9. 自由記述（日本語・1,200 字程度） / Feedback (English about 600 words)

• 以下の点を踏まえ、記述して下さい。 / Please give your feedback including the following points:

- ① 留学を終えての所感 / Please describe and evaluate your study abroad experience briefly.
- ② 留学期間中、最も印象に残った体験・出来事 / What was the most impressive experience in your study abroad experience?
- ③ 留学の成果、留学前と比較して成長した点 / What is your achievement through the study abroad experience?
- ④ 今回の留学での経験や成果を今後どのように活かしたいか(将来のキャリアパスも含めて) / How do you want to make use of your study abroad experience in the future including your career?

• 写真を2~3枚程度、貼り付けてください(写真1枚当たりの容量は、500KB以下に縮小して下さい)。

Please add 2-3 photos (within 500 KB per a photo).

- ① 新型コロナウイルスの影響で実際にオーストラリアにいられたのは2か月弱で、動機の一つである半年以上の比較的長い期間身を置くことは叶いませんでしたが、それでも現地で学生生活を送ってよかったと思っています。キャンパスで授業を受けられたのはたったの4週間、その前にまともに動けた期間を含めても、いわゆる留学らしいことができたのは6週間ほどでした。想定していたよりはるかに短かったですが、その間に数々のイベントに参加したり、クラスメートとの授業を経験できたり、ゴールドコーストのビーチを満喫したり、友人達と出会い語り合うことができたりしたのは、とても貴重な体験でした。気になるイベントやサークルには積極的に参加したことで、良い刺激を受けながら生活を充実させることができたと思います。帰国後8か月ほども継続して学習を進め、最後まで終えられて安堵しています。
- ② オーストラリアにいたころでの体験だと、授業前にあった交換留学生のためのパッケージツアーに参加したことです。今でも定期的にビデオチャットする友人に出会えたこと、様々なアクティビティができたことで特に印象に残っています。途中トラブルもありましたが、様々な国から来た学生たちとたくさん交流し、楽しい時を過ごせました。
しかし、「全」留学期間で最も印象的なのは、やはり新型コロナウイルスの流行とそれに起因する出来事への対応に追われたことです。ロックダウン後の生活に適應すること、帰国への手続きと帰国後隔離の準備、それらに伴うデポジットの返金などのトラブルの解消、憂鬱な気分への対処・・・などなど、目まぐるしかったです。最終的には無事に帰国を終えられたのでよかったです。
- ③ 成果としては皮肉な面もありますが、帰国せざるを得ない状況になってオンラインでの留学になっても、腐りきることなく、最後まで授業をやり切れたのは一つの大きな収穫だと思っています。必要な単位は日本で取得していた以上、現地での経験を重視していたので、帰国後の学習ではモチベーションの維持や目標設定および達成に苦労を覚えることも多々ありました。そのような特殊な状況でも課題に取り組み、時にはその内容に良い評価をいただけたことは自信にも繋がっています。先生からのフィードバックも非常にありがたかったです。また、オーストラリアでの生活では、新型コロナウイルスの有無にかかわらず、想定外のトラブルや自分の能力の壁（主に会話面）にしばしば直面していました。その度に落ち込んだりイラついたりもしながらも、自分なりに対処していったことも、今となっては成果であり成長だと思っています。
- ④ 卒業論文を英語で執筆予定なので、英語でペーパーを書き、フィードバックをいただいた経験を活かしていきたいです。言語学関係の授業で書いたペーパーは、自身の研究にも関わりうる内容のものもあったので、そこからテーマを発展させていく予定です。また、今回の留学での経験などを通して発見できた、自分の強みや価値観、エピソードなどを今後行っていく就職活動に組み込んでアピールしていこうと思っています。

(1275 字)

【その他】 上記の振り返りでは書けなかったことですが、私は短い間でもゴールドコーストという場所が大好きになりました。基本的にのんびりしていても、ビーチや街中には活気がありとても気に入りました。中心部やビーチは大学から路面電車で20-30分ほどであり、時間を工夫しカードを有効活用すれば往復で100円ほどの運賃なので、授業後や休日にもふらっと行けます。グリフィス大学は主なキャンパスがゴールドコーストとプリズベンに分かれており、自分もどちらに行くか悩みましたが、直感でピンと来ていたゴールドコーストを最終的に選んで本当に

よかったと思っています。もちろん、ブリスベンにもたくさん魅力があると思うので、自分がこれだ！と思えるキャンパスを選べることを願っています。

また、学業の面でいうと、グリフィス大学は観光学が非常に有名で、フィールドワークを取り入れる授業も多いです。興味のある方は授業を検索してみるのをおすすめします。ほかには、私はイタリア語の授業を1学期に受講しましたが、学生たちと授業で交流する機会が多くて印象に残っています。オーストラリア出身の学生ばかりかなと思っていたら、意外にも半分弱くらいは他国からの留学生で、多国籍な環境でした。英語で別の外国語を学ぶのは面白い経験なので、教科書は高額でしたが、チャレンジしてみるのも楽しいと思います。



路面電車で行ける範囲だと、終点の Broadbeach South 駅からのビーチが一番綺麗です。



大学近くにある、オーストラリア二大スーパーの一つ、Woolworths と、その系列の酒屋。



繁華街の Cavill Avenue 周辺。たくさん店が並び昼夜問わず人が多い栄えた場所ですが、撮影した時はパンデミックの影響で店が閉まっており、人もほとんどいませんでした。背中側はサーファーズパラダイスのビーチです。

注1) 報告書およびその内容は、留学希望者への情報提供のため、HUSA ホームページおよび広島大学ホームページへの掲載、事務室での閲覧や大学の留学情報案内の作成のために利用させていただきます（氏名及び学生番号については、非公開とします）。ただし、公開にあたり不適切と判断された内容については、国際交流グループにて削除等させていただきますので予めご了承ください。/ This report and its contents will be uploaded on website of the HUSA and Hiroshima University, browsed at the office and used for information regarding study abroad at Hiroshima University in order to provide information to students who desire to study abroad. (Student name and student number are not published). If the report and its contents are included inadequate contents to be published, it would be deleted or amended it by International Exchange Group.